

第175回 取引先企業景気動向調査

2021年10 - 12月実績

2022年 1 - 3月見通し

 瀬戸信用金庫
総合企画部

＜ 調査の概要 ＞

- 調査期間 2021年10～12月を対象に12月上旬に実施
- 調査対象先 305社
- 調査対象地域 瀬戸・尾張旭地区および名古屋地区
- 分析方法 「増加したとする企業割合」と「減少したとする企業割合」の差(DI)を中心に分析した
 ※DIとは、業況を判断するための指数で、＜良い(やや良い)と答えた割合＞から＜悪い(やや悪い)と答えた割合＞を引いた数値で、どちらの割合が多いかを比べて業況がどの方向に向きつつあるかの判断を指数化したもの

● 調査企業の業種構成

《瀬戸・尾張旭地区》

企業数 (社)	陶磁器製造業						珪砂 製造業	建築・土木・ 生コン製造業	螺子 製造業	和飲食器 卸売業	電設資材 卸売業	合計
	ノベルティ	洋飲食器	タイル	電磁器	ファインセラミックス	和飲食器						
	17	7	7	21	13	21	9	19	17	21	19	171

《名古屋地区》

企業数 (社)	製造業			卸売業			建設業	合計
	繊維製品	機械・部品	紙加工品	鋼材・伸銅品	建築材料	家具・文具		
	11	37	15	20	14	8	29	134

● 天気図の見方

好調 ←  → 低調

景気動向は、1971年(昭和46年)から調査を開始し、現在の調査方法は2006年(第112回 1～3月期)より開始しております。

■ 瀬戸・尾張旭地区 【業種別の業況天気図】















業種		2019年 12月	2020年 3月	6月	9月	12月	2021年 3月	6月	9月	12月	2022年 見直し3月
陶磁器製造業	ノベルティ	12.5		▲68.8		▲31.3		▲35.3		0.0	
	洋飲食器	▲42.9		▲85.7		▲57.1		▲42.9		0.0	
	タイル	▲14.3		▲42.9		0.0		0.0		▲14.3	
	電磁器	▲30.0		▲52.2		▲18.2		▲13.6		▲19.0	
	ファインセラミックス	▲7.1		▲15.4		▲38.5		0.0		▲15.4	
	和飲食器	▲10.0		▲55.0		▲40.0		▲30.0		▲9.5	
陶磁器製造業合計		▲13.1	▲22.6	▲52.3	▲52.3	▲30.6	▲25.6	▲20.9	▲16.5	▲10.5	▲10.5
珪砂製造業		▲20.0		▲30.0		0.0		▲20.0		0.0	
建築・土木・生コン製造業		0.0		▲21.1		▲33.3		▲5.3		▲15.8	
螺子製造業		▲23.5		▲70.6		▲58.8		▲17.6		▲41.2	
和飲食器卸売業		▲8.7		▲73.9		▲59.1		▲59.1		▲42.9	
電設資材卸売業		▲15.8		▲61.1		▲55.6		▲38.9		▲5.3	

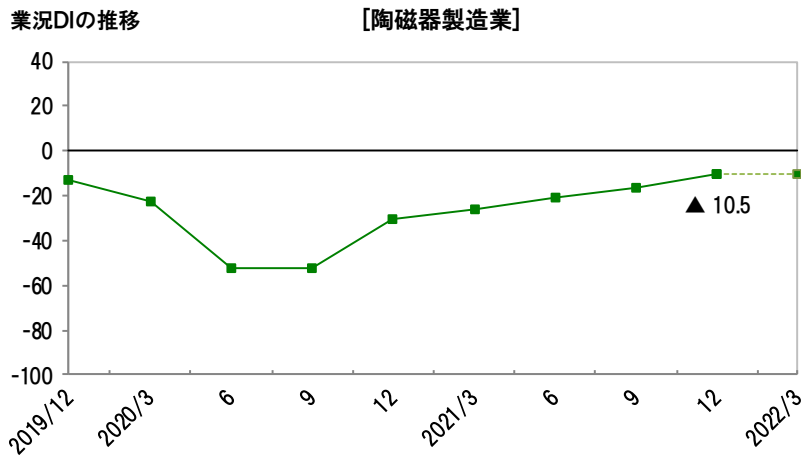
■ 名古屋地区 【業種別の業況天気図】

業種	2019年 12月	2020年 3月	6月	9月	12月	2021年 3月	6月	9月	12月	2022年 見直し3月
繊維製品製造業	▲20.0		▲77.8		▲55.6		▲40.0		▲36.4	
機械部品製造業	▲2.7		▲52.8		▲37.8		▲8.1		0.0	
紙加工品製造業	▲6.7		▲53.3		▲46.7		▲60.0		▲33.3	
鋼材・伸銅品卸売業	▲35.0		▲70.0		▲57.9		▲25.0		10.0	
建築材料卸売業	▲7.1		▲50.0		▲50.0		▲64.3		▲28.6	
家具・文具卸売業	▲36.4		▲45.5		▲40.0		▲33.3		▲12.5	
建設業	10.7		▲35.7		▲17.2		▲28.6		▲31.0	

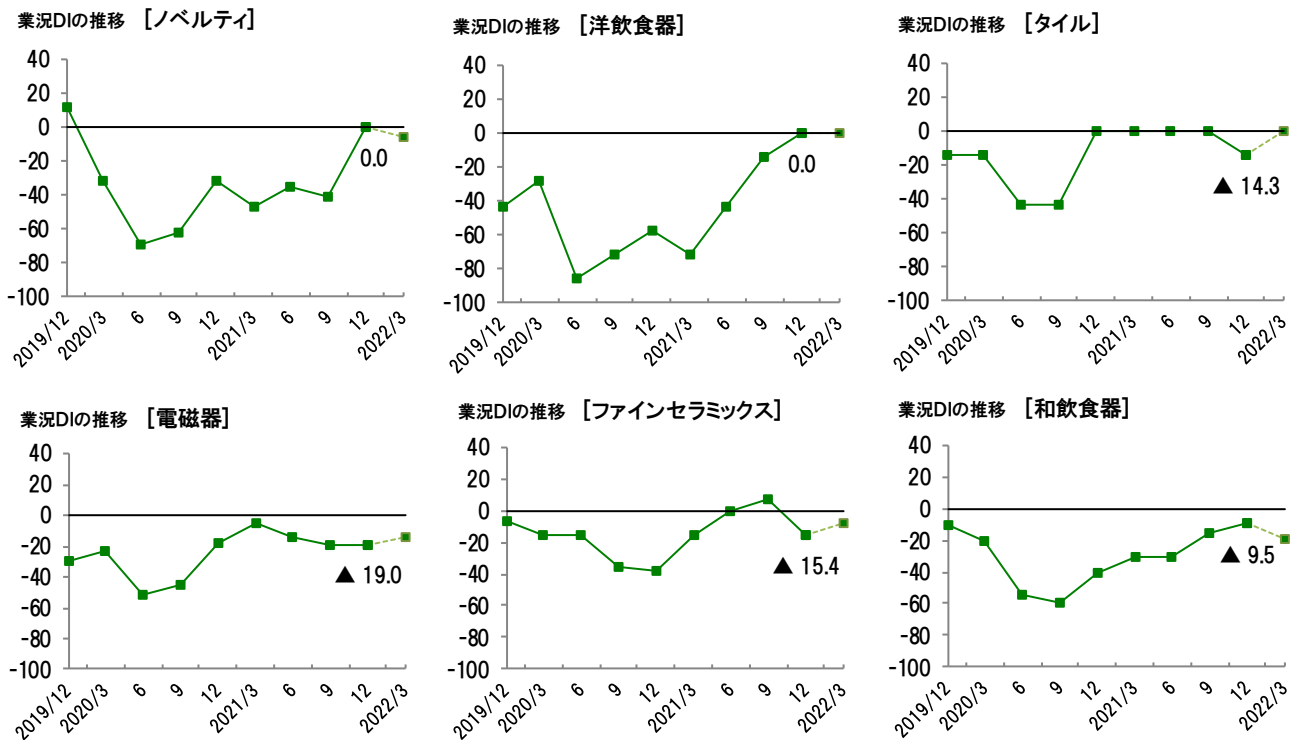
■ 瀬戸・尾張旭地区

< 陶磁器製造業 >

業種	2021年10-12月（今回）業況	2022年1-3月の見通し
陶磁器製造業全体	 前回調査同様、マイナス圏で推移したものの、一部で持ち直しの動きが見られていることから、全体の業況感は、緩やかではあるが回復傾向で推移している。	 今回調査と同水準の見通し
ノベルティ	 改善傾向、プラス圏に回復	 悪化見通し
洋飲食器	 改善傾向、プラス圏に回復	 同水準の見通し
タイル	 悪化傾向、マイナス圏に落ち込む	 改善見通し
電磁器	 マイナス圏で横ばい推移	 改善見通し
ファインセラミックス	 悪化傾向、マイナス圏に落ち込む	 改善見通し
和飲食器	 改善傾向ながら、前回調査に続きマイナス圏で推移	 悪化見通し



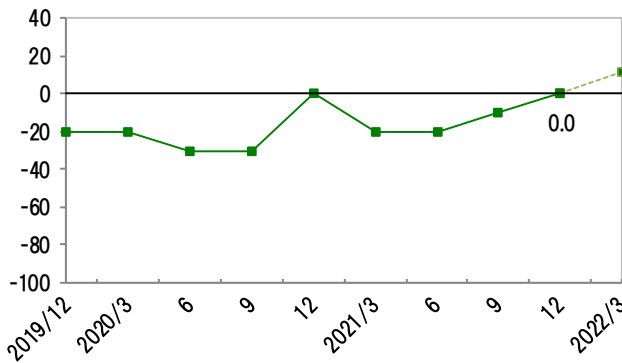
< 陶磁器製造業の業種別DI >



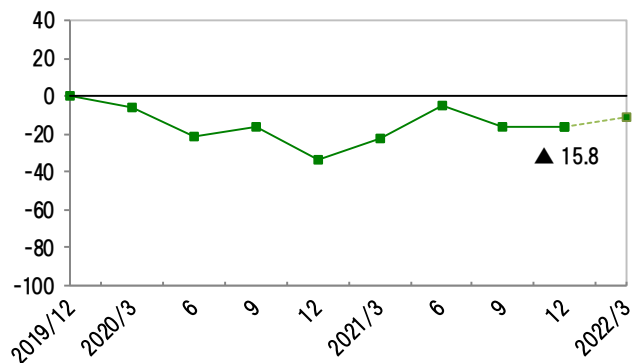
< その他製造業 >

業種	2021年10-12月（今回）業況		2022年1-3月の見通し	
珪砂		改善傾向、プラス圏に回復		回復見通し
建築・土木・生コン		マイナス圏で横ばい推移		改善見通し
螺子		マイナス幅は拡大し、低水準で推移		改善見通し

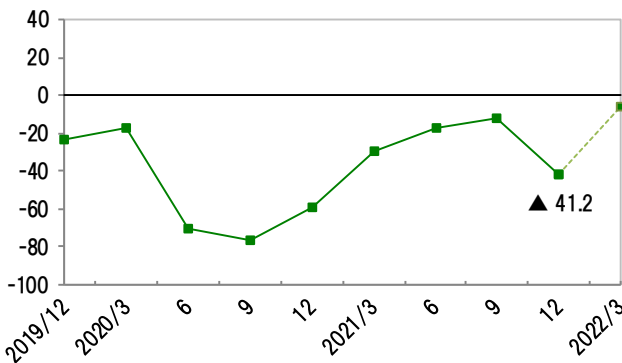
業況DIの推移 [珪砂製造業]



業況DIの推移 [建築・土木・生コン製造業]



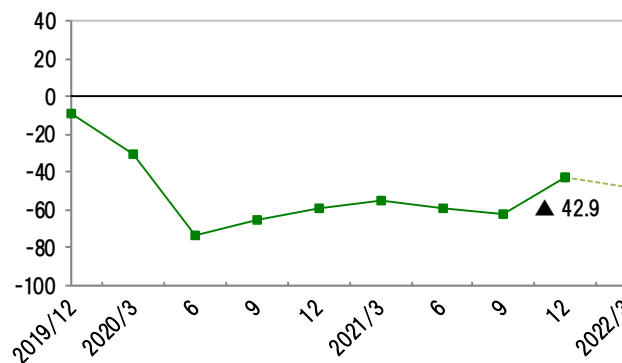
業況DIの推移 [螺子製造業]



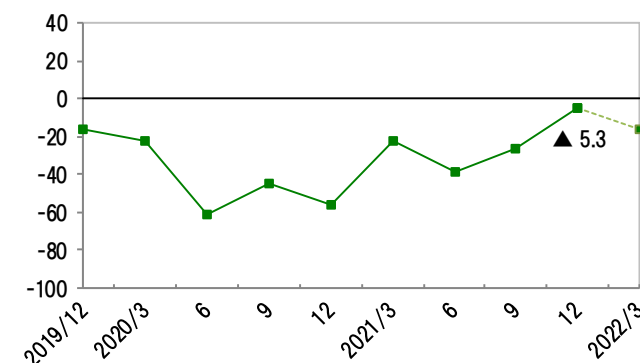
< その他卸売業 >

業種	2021年10-12月（今回）業況		2022年1-3月の見通し	
和飲食器		改善傾向ながら、前回調査に続き低水準で推移		悪化見通し
電設資材		改善傾向		悪化見通し

業況DIの推移 [和飲食器卸売業]











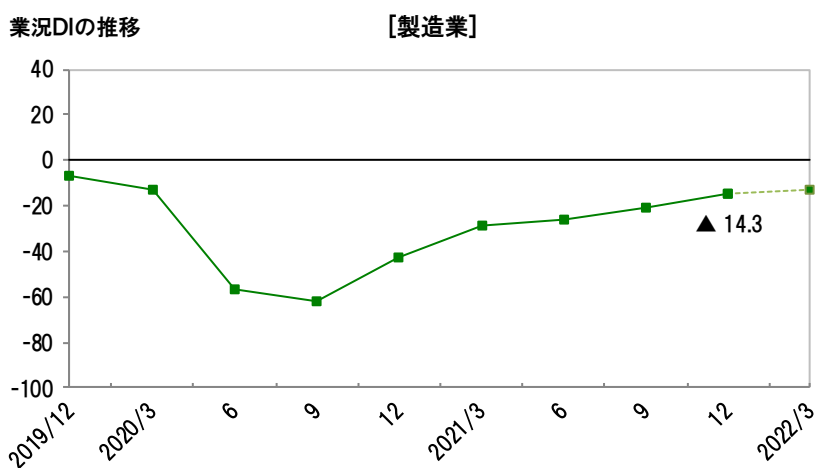
業況DIの推移 [電設資材卸売業]



■ 名古屋地区

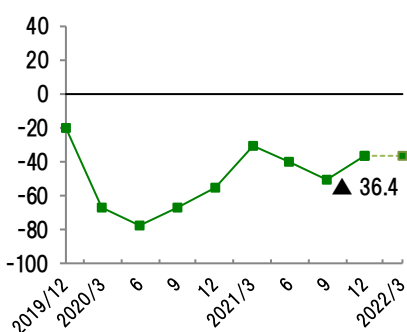
< 製造業 >

業種	2021年10-12月（今回）業況	2022年1-3月の見通し
製造業全体	 前回調査同様、マイナス圏で推移したものの、全体の業況感は、緩やかではあるが回復傾向で推移している。 なお、業種間で回復水準に差がみられる結果となった。	 わずかに改善見通し
繊維製品	 改善傾向ながら、前回調査に続き低水準で推移	 同水準の見通し
機械部品	 改善傾向、プラス圏に回復	 わずかに改善見通し
紙加工品	 マイナス幅は拡大し、前回調査に続き低水準で推移	 同水準の見通し

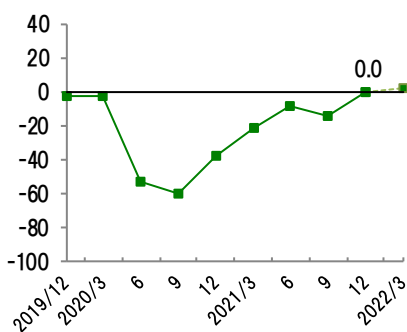


< 製造業の業種別DI >

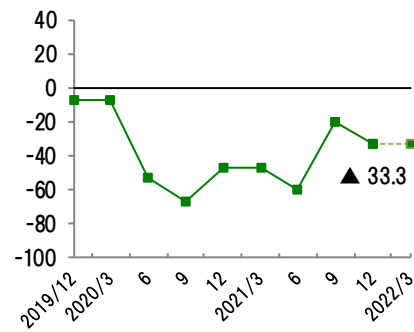
業況DIの推移 [繊維製品]



業況DIの推移 [機械部品]

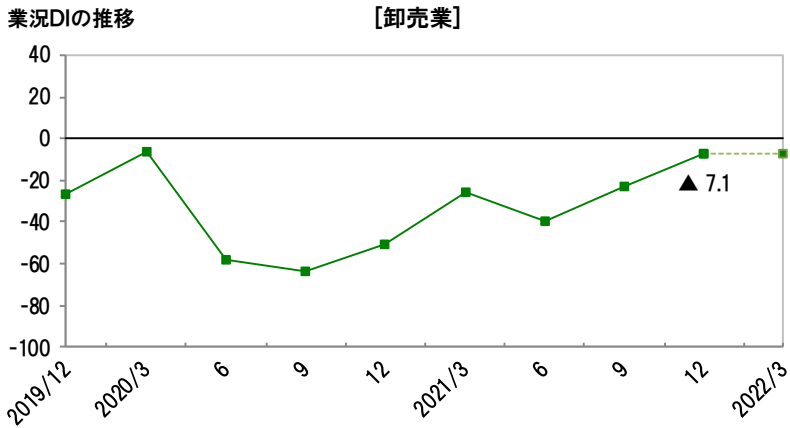


業況DIの推移 [紙加工品]



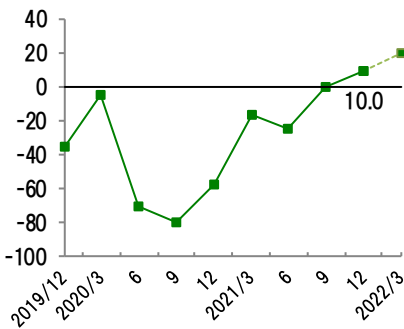
< 卸売業 >

業種	2021年10-12月（今回）業況	2022年1-3月の見通し
卸売業全体	前回調査同様、マイナス圏での推移となったものの、各業種で持ち直しの動きが見られたことから、全体の業況感は、回復傾向が見られた。	同水準の見通し
鋼材・伸銅品	改善傾向、前回調査に続きプラス圏で推移	回復見通し
建築材料	改善傾向ながら、前回調査に続き低水準で推移	悪化見通し
家具・文具	改善傾向ながら、前回調査に続きマイナス圏で推移	同水準の見通し

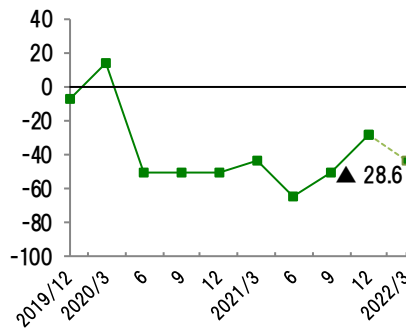


< 卸売業の業種別DI >

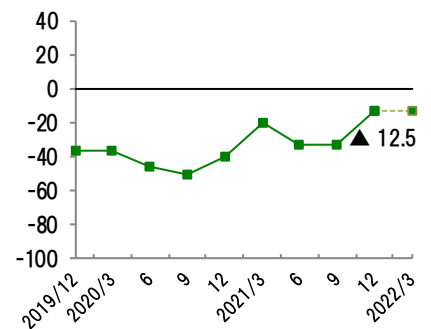
業況DIの推移 [鋼材・伸銅品]



業況DIの推移 [建築材料]

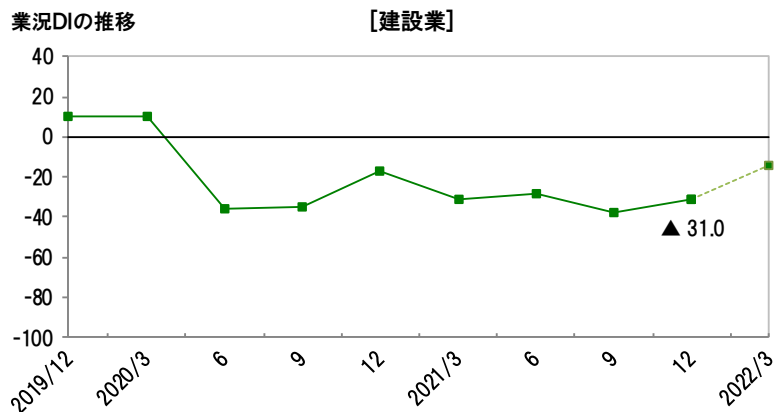


業況DIの推移 [家具・文具]



< 建設業 >

業種	2021年10-12月（今回）業況	2022年1-3月の見通し
建設業	改善傾向ながら、前回調査に続き低水準で推移	改善見通し



■ 瀬戸・尾張旭地区

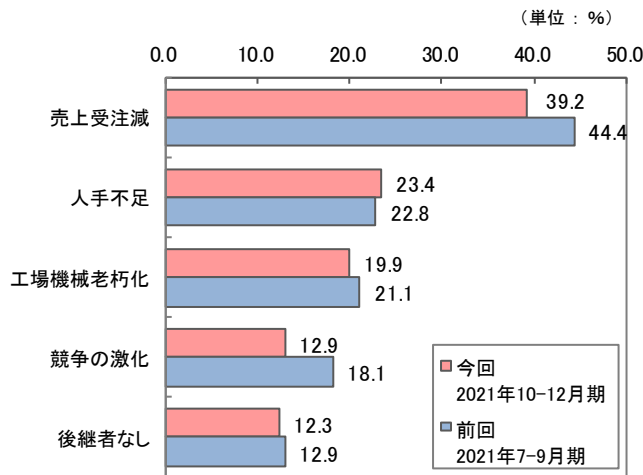
<経営上の問題点>

「売上受注減」が39.2%と最も高く、「人手不足(23.4%)」「工場機械老朽化(19.9%)」「競争の激化(12.9%)」と続いた。また、「後継者なし」は、前回調査(12.9%)を0.6ポイント下回る12.3%となった。

<設備投資の動き>

「実施あり」は3.5%(前回比△1.8ポイント)と前回の実績を下回った。今後3か月間の見通しについて、「実施予定あり」は4.1%(今回比+0.6ポイント)の予想となった。

<経営上の問題点>



※数字は有効回答数に占める割合で1企業が3項目まで回答

<設備投資の動き>

	前回 2021年 7-9月期	今回 2021年 10-12月期	見通し 2022年 1-3月期
実施あり	5.3	3.5	4.1
土地	0.0	0.0	14.3
建物	33.3	0.0	28.6
機械の新設	22.2	33.3	57.1
機械の更改	55.6	66.7	42.9
その他	22.2	16.7	14.3
実施なし	94.7	96.5	95.9

※内訳の数字は「実施あり」に占める割合で1企業が複数回答あり

■ 名古屋地区

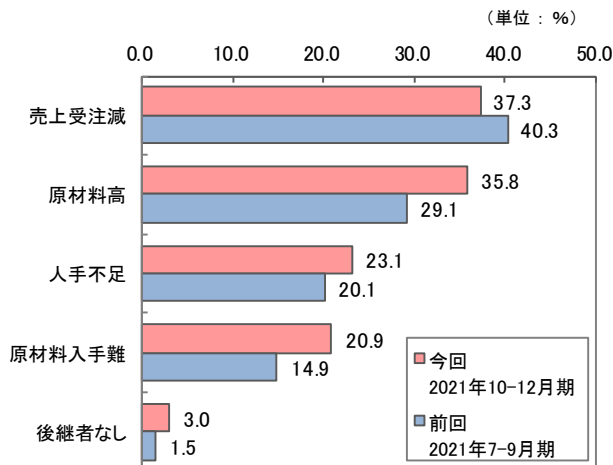
<経営上の問題点>

「売上受注減」が37.3%と最も高く、「原材料高(35.8%)」「人手不足(23.1%)」「原材料の入手難(20.9%)」と続いた。前回調査と比較すると「原材料高」「原材料の入手難」の回答割合が増加しており、材料不足と高騰化の動向には注視が必要。「後継者なし」は、前回実績(1.5%)を1.5ポイント上回る3.0%となった。

<設備投資の動き>

「実施あり」は4.5%(前回比同ポイント)と、前回の実績と同様となった。今後3か月間の見通しについて、「実施予定あり」は4.5%(今回比同ポイント)の予想となった。

<経営上の問題点>



※数字は有効回答数に占める割合で1企業が3項目まで回答

<設備投資の動き>

	前回 2021年 7-9月期	今回 2021年 10-12月期	見通し 2022年 1-3月期
実施あり	4.5	4.5	4.5
土地	16.7	00	00
建物	16.7	33.3	33.3
機械の新設	33.3	66.7	16.7
機械の更改	33.3	16.7	33.3
その他	16.7	16.7	16.7
実施なし	95.5	95.5	95.5

※内訳の数字は「実施あり」に占める割合で1企業が複数回答あり

【特別調査】
「2022年(令和4年)の経営見通しについて」

2022年(令和4年)の経営見通しについて調査するとともに、中小企業の経営に影響を及ぼす「原材料価格・仕入価格の上昇」への対応についてもアンケートを行った。

＜調査対象先＞ 当金庫取引先 305社
愛知県 727社 全国 13,905社(愛知県、全国は信金中央金庫の調査によるもの)

1. 自社の業況見通し

■当金庫全体

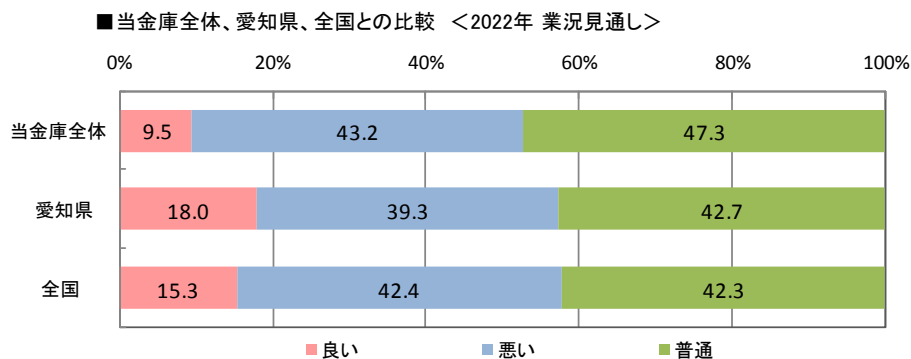
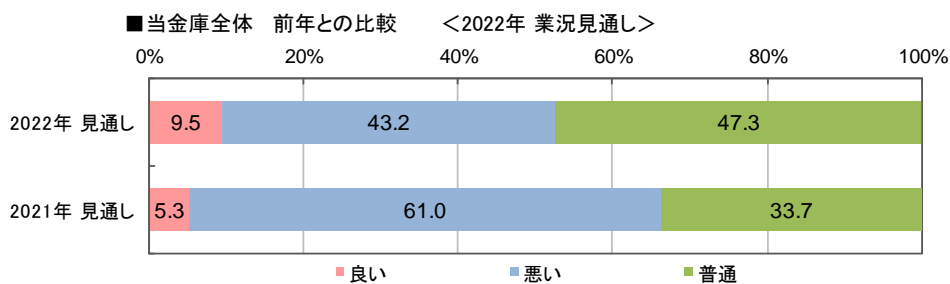
- ・「良い－悪い」は△33.7ポイントと、前年に続き「悪い」と回答した取引先が上回る結果となった。
- ・1年前の調査(△55.7ポイント)と比較すると22.0ポイント改善、「悪い」と回答した割合が減少(△17.8ポイント)したものの、業況が本格的に回復するには、まだしばらく時間を要するものと思われる。

■愛知県

- ・「良い－悪い」は△21.3ポイント
- ・1年前の調査(△55.0ポイント)と比べて33.7ポイント改善、「悪い」と回答した割合が減少した。

■全国

- ・「良い－悪い」は△27.1ポイント
- ・1年前の調査(△58.2ポイント)と比べて31.1ポイント改善、「悪い」と回答した割合が減少した。



2. 自社の売上額見通し(伸び率)

■当金庫全体

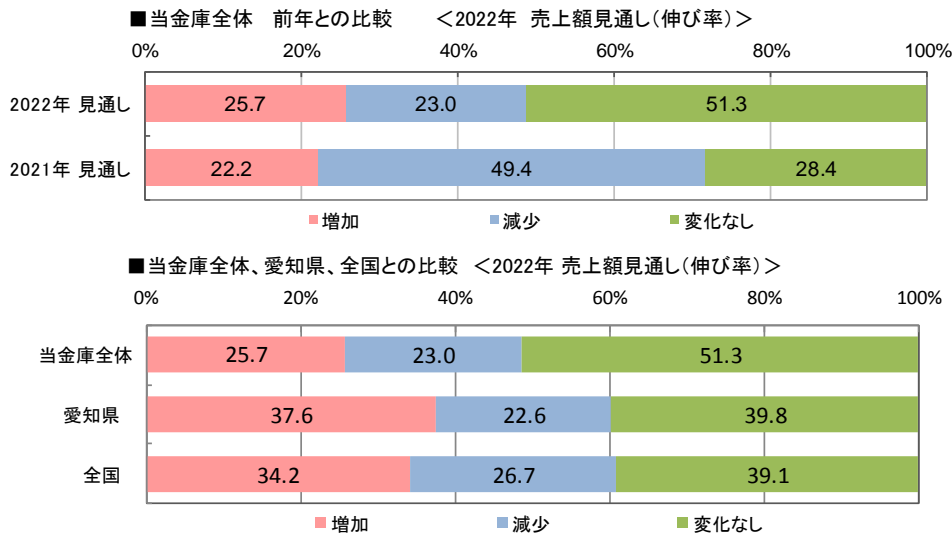
- ・「増加ー減少」は 2.7 ポイントとなり、売上高は回復傾向が見られた。
- ・1年前の調査(△27.2 ポイント)と比べて「減少」するとの回答が大幅に減少しており、売上高には底打ち感が見られる。

■愛知県

- ・「増加ー減少」は 15.0 ポイントと、1年前の調査(△20.1 ポイント)と比べて 35.1 ポイント増加の見通し。

■全国

- ・「増加ー減少」は 7.6 ポイントと、1年前の調査(△29.2 ポイント)と比べて 36.8 ポイント増加の見通し。



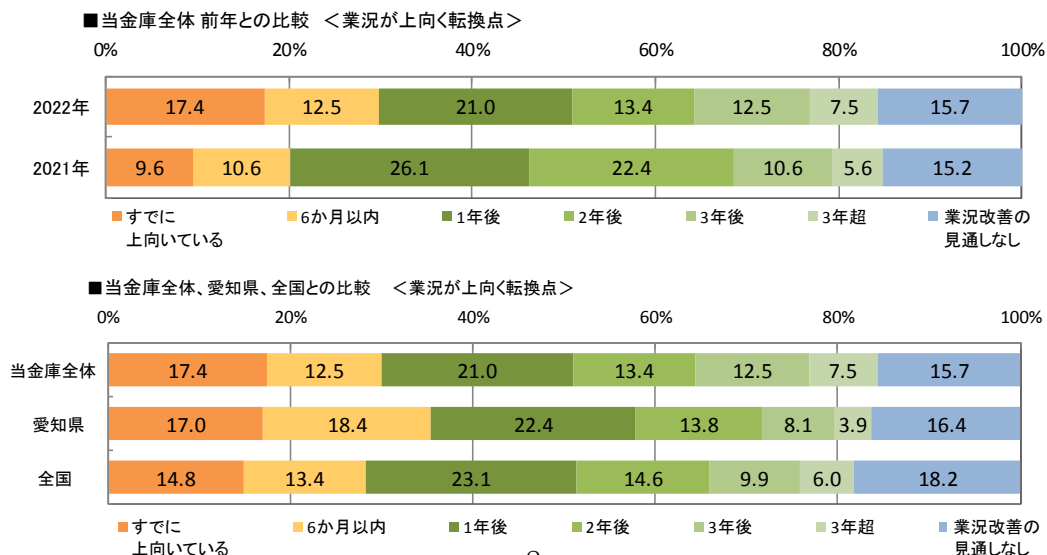
3. 自社の業況が上向き転換点

■当金庫全体

- ・「1年後」が 21.0%(1年前の調査 26.1%)と最も高く、「すでに上向きしている」が 17.4%(1年前の調査 9.6%)、「2年後」が 13.4%(1年前の調査 22.4%)と続いた。
- ・1年前の調査と比較すると、「1年後、2年後」との回答は減少し、「すでに上向きしている」との回答が増加していることから、業況は改善に向かっているものの、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、改善のスピードは予想より緩やかなものとなっている。

■愛知県・全国

- ・当金庫全体と同様に、「1年後」が愛知県 22.4%、全国 23.1%と最も高い回答割合となり、「すでに上向きしている」は、愛知県 17.0%、全国 14.8%となった。



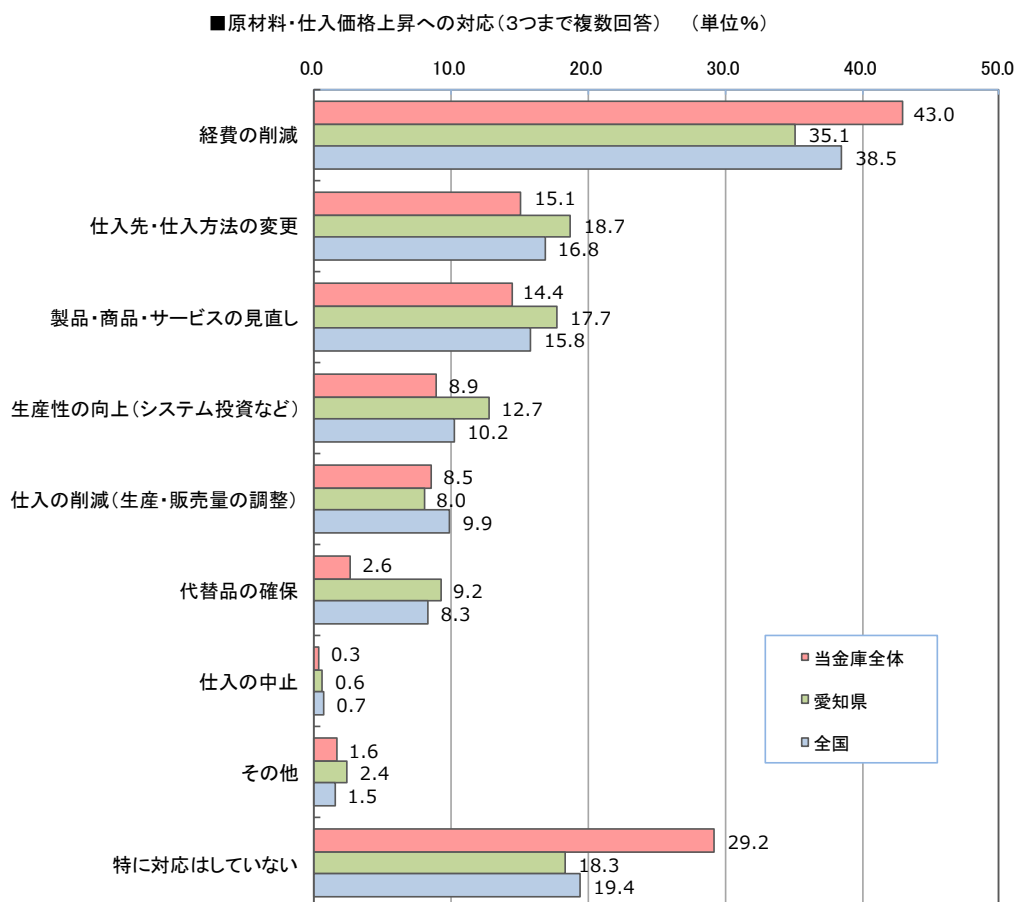
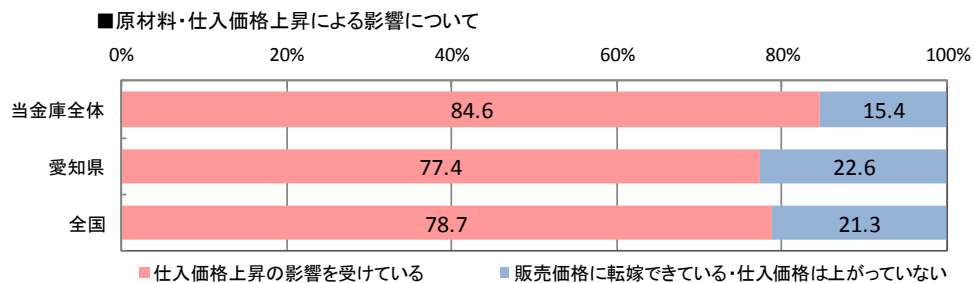
4. 原材料・仕入価格上昇への対応について(複数回答)

■当金庫全体

- ・「仕入価格上昇の影響を受けている」と回答した割合は 84.6%と、8 割超の取引先が仕入価格上昇の影響を受けている結果となった。
- ・仕入価格上昇への対応については、「経費の削減」が 43.0%と最も高く、「仕入先・仕入方法の変更」が 15.1%、「製品・商品・サービスの見直し」が 14.4%と続いた。「経費削減」との回答割合が高く、まず自助努力での対策を行っている取引先が多くなっている。
- ・「特に対応はしていない」との回答割合は 29.2%。

■愛知県・全国

- ・「仕入価格上昇の影響を受けている」と回答した割合は、愛知県 77.4%、全国 78.7%。
- ・仕入価格上昇への対応については、「経費の削減」が愛知県 35.1%、全国 38.5%、「仕入先・仕入方法の変更」が愛知県 18.7%、全国 16.8%、「製品・商品・サービスの見直し」が愛知県 17.7%、全国 15.8%。
- ・「特に対応はしていない」と回答した割合は愛知県 18.3%、全国 19.4%と、当金庫取引先(29.2%)を下回る結果となった。



【特別調査Ⅱ】
2022年(令和4年)の問題・課題等の見通し

長期にわたる厳しい事業環境が予想されるなか、2022年(令和4年)の問題・課題等についてもアンケートを行った。
 <調査対象先> 当金庫取引先 305社 (うち、瀬戸・尾張旭地区 171社 名古屋地区 134社)

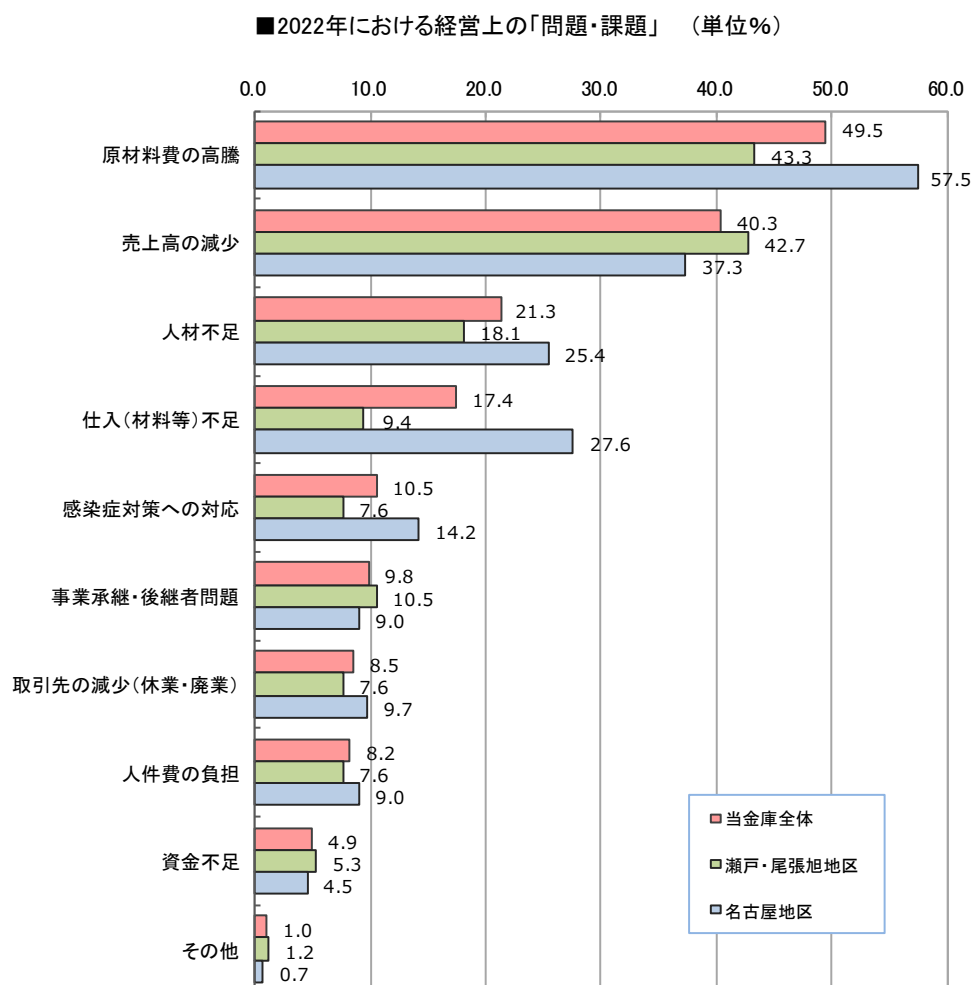
1. 経営上の「問題・課題」(複数回答)

■当金庫全体

- ・「原材料費の高騰」との回答割合が49.5%と最も高く、「売上高の減少(40.3%)」を上回る水準。
- ・「感染症対策への対応(10.5%)」「資金不足(4.9%)」との回答割合は比較的低い水準であり、新型コロナウイルス感染症への対応が進んでいることが見受けられる。

■瀬戸・尾張旭地区、名古屋地区

- ・名古屋地区では、瀬戸・尾張旭地区と比較すると、「原材料費の高騰(57.5%)」「人材不足(25.4%)」「仕入(材料等)不足(27.6%)」「感染症対策への対応(14.2%)」の回答割合が高い。



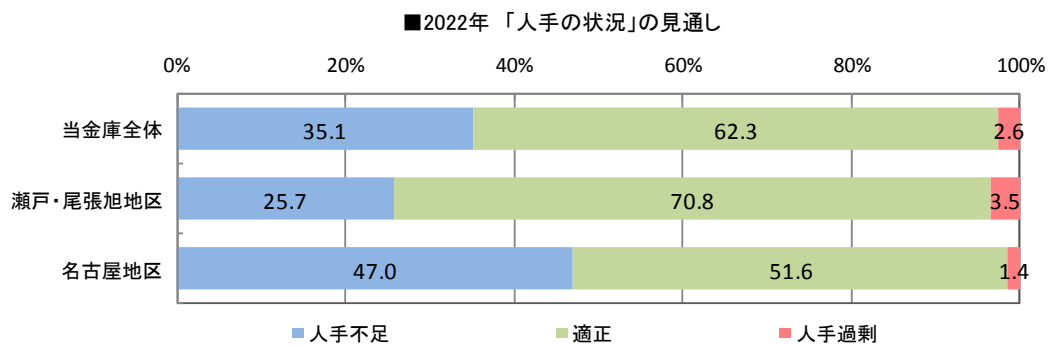
2. 人手の状況について

■当金庫全体

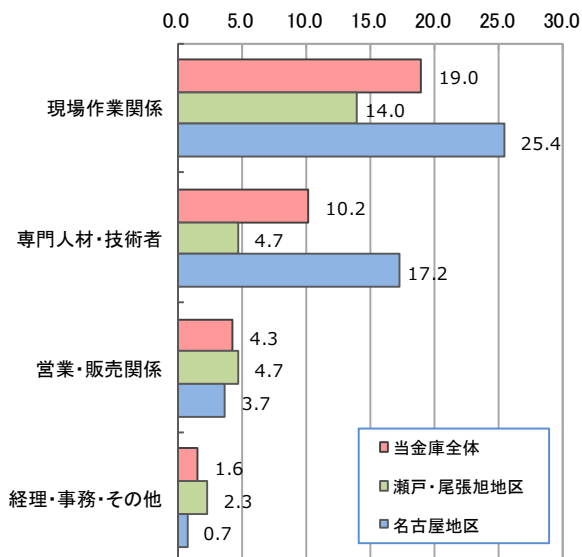
- ・「人手不足」との回答割合は 35.1%と、3 社に 1 社が人手不足の状況にある。
- ・職域については、特に「現場作業関係」「専門人材・技術者」の人手が不足している。

■瀬戸・尾張旭地区、名古屋地区

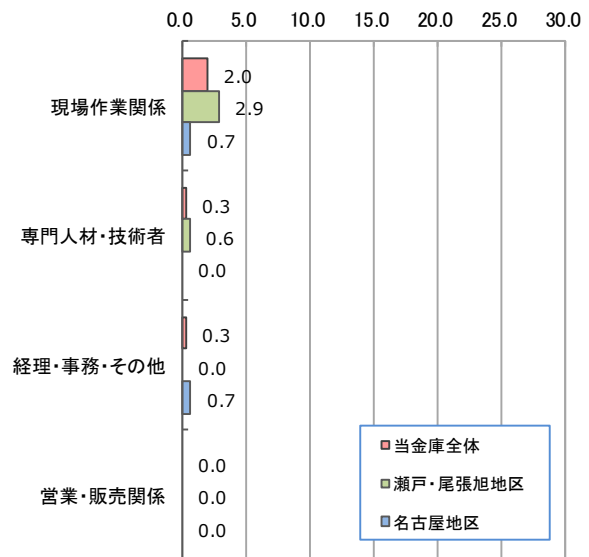
- ・名古屋地区では、「人手不足」との回答割合が 47.0%と、ほぼ半数の企業が人手不足の状況にある。
- ・職域については、瀬戸・尾張旭地区は「現場作業関係」、名古屋地区では「現場作業関係」「専門人材・技術者」の人手が特に不足している。



■「2022年人手不足」と見通している職域 (単位: %)



■「2022年人手過剰」と見通している職域 (単位: %)



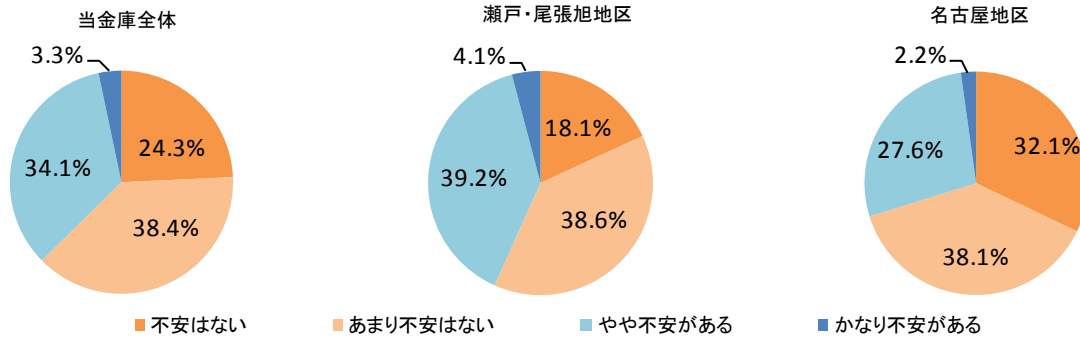
3. 「2022年(令和4年)」の資金繰りについて

■当金庫全体

- ・資金繰りに対して、「不安はない(不安はない+あまり不安はない)」が62.7%、「不安がある(やや不安がある+かなり不安がある)」が37.4%。
- ・資金繰りに対して不安を感じている取引先も見受けられるが、「かなり不安がある」と回答した割合は3.3%と低く、資金繰りについて大きな不安を抱えている企業は低い水準にとどまっている。

■瀬戸・尾張旭地区、名古屋地区

- ・名古屋地区(29.8%)と比較すると、瀬戸・尾張旭地区(43.3%)において、資金繰りの不安を抱えている取引先が多い。



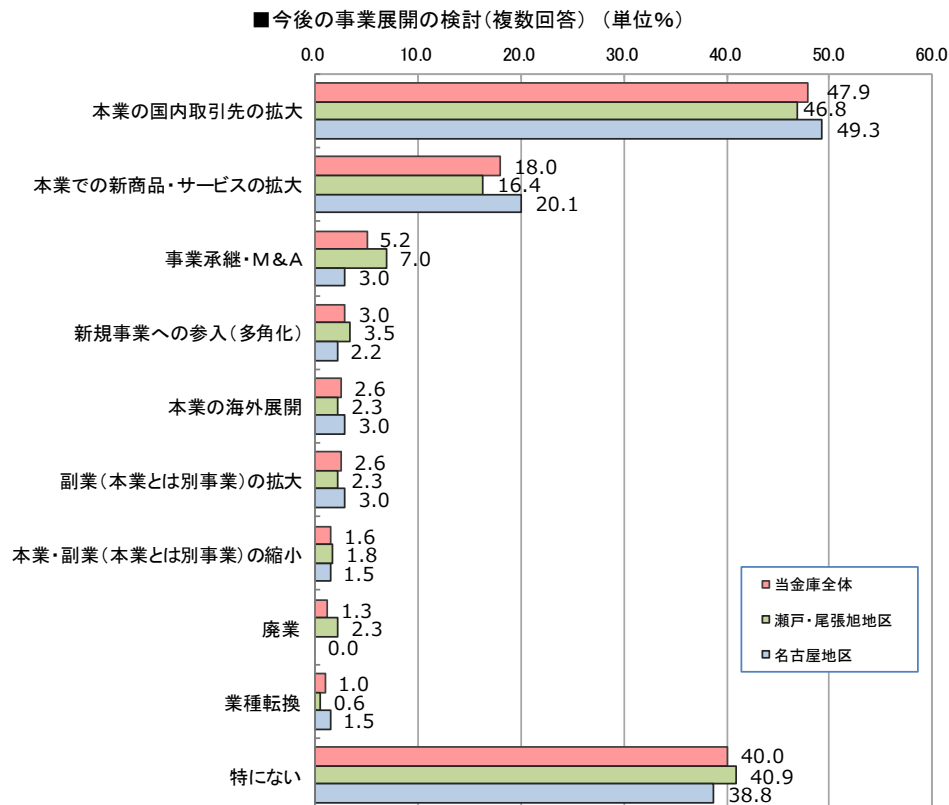
4. 2022年の事業展開の検討(複数回答)

■当金庫全体

- ・「本業の国内取引先の拡大(47.9%)」「本業での新商品・サービスの拡大(18.0%)」の回答割合が高い結果となった。長期化するコロナ禍の影響で、物流の世界的な停滞や海外展開が低迷している中、「本業」かつ「国内」を中心とした事業展開を考えている企業が多くなっている。
- ・「特になし」との回答割合は40.0%。

■瀬戸・尾張旭地区、名古屋地区

- ・名古屋地区と比較すると、瀬戸・尾張旭地区において「事業承継・M&A」「廃業」の回答割合が高い。



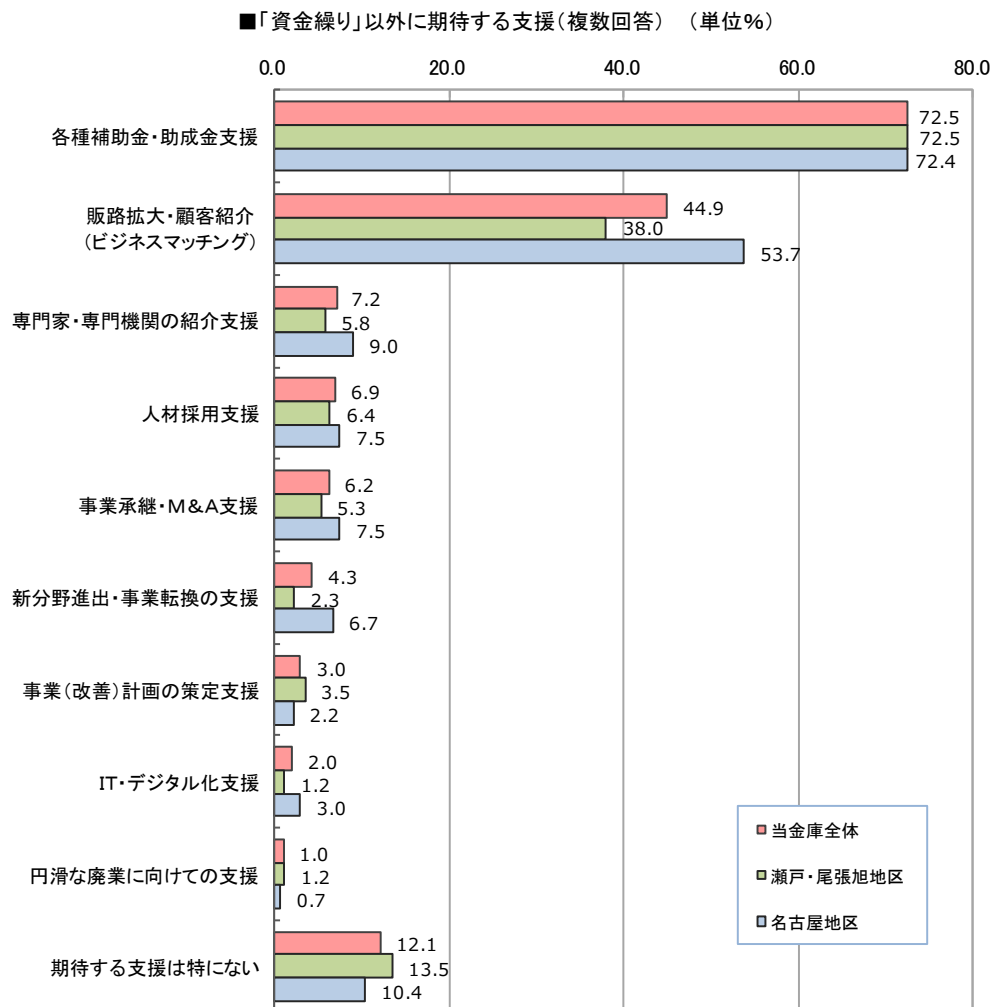
5. 金融機関に対して、「資金繰り支援」以外に期待する支援(複数回答)

■ 当金庫全体

- ・「期待する支援は特にはない」は 12.1%であり、9 割弱の取引先においては、金融機関に対し「資金繰り支援」以外の支援も期待している。
- ・特に、「各種補助金・助成金支援(72.5%)」「販路拡大・顧客紹介(ビジネスマッチング)(44.9%)」支援への期待が高い。

■ 瀬戸・尾張旭地区、名古屋地区

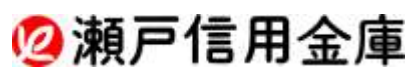
- ・瀬戸・尾張旭地区と比較すると、名古屋地区において「販路拡大・顧客紹介(ビジネスマッチング)(53.7%)」「専門家・専門機関の紹介支援(9.0%)」「新分野進出・事業転換の支援(6.7%)」の回答割合が高い。



企業景気動向調査 No.175

愛知県瀬戸市東横山町 119 番地の 1

<https://www.setoshin.co.jp>



総合企画部 企画広報グループ

TEL0561-86-0100